

そよ風

第11号

今治市立立花中学校

立春を過ぎ、梅のつぼみがふくらみはじめました。寒い中にも、確実に春は近づいています。今回は、自分と相手、お互いを理解するということと、伝え合うことの大切さについて考えてみましょう。

わたしを大切にする・ひとを思いやる

私は、友達が自分を理解してくれるのを待っていただけかもしれない。それは相手が問題だったのではなく、相手を理解しようとしなかった私の方が問題だったのだ。そのことに気付いてからは、今まで気付かなかった相手の良さにどんどん気付くことができた。相手を理解するという事は、個性を認め合うというとても大切なものだと、改めて考えさせられた。

また、自分の本当の意思をはっきり示すことができなかつたことも悩みだった。例えば、仲良くなった友達から「掃除なんて面倒くさい、さぼろうよ。」と言われたことがあった。私は「さぼるのは嫌だ。」と思ったのに、「そんなこと言わずに掃除しようよ。」とは言えなかつた。

あのときの私を振り返ると、嫌われるのが怖いという気持ちに負けたのだ。人はどんなに仲が良くても意見が一緒だとは限らない。そのときは、違う意見を言えば、自分が相手から嫌われると思っていたのだ。

しかし、今はそんな付き合い方は絶対だめだ、と思うようになった。

大阪府中学生作文「人とのふれあいの中で」抜粋

上の作文は大阪府の中学生のものです。相手を理解しようとする事の大切さ、自分の気持ちをはっきり伝えることの難しさが表現されています。

“わたしを大切にする・ひとを思いやる” のは言葉のつかい方で変わるかも



わたしを大切にする

ことばの“まほう”

ひとを思いやる

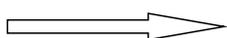
もし、自分や相手のことを「いいかげん」とか「おちつきがない」とか「優柔不断」などと、好きになれなかつたり、認めることができないときには、マイナス言葉を「言い換え」でプラス言葉に変身させてみましょう。

例えば、

マイナス言葉

プラス言葉

☆いいかげん



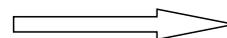
おおらか・こだわらない

☆おちつきがない



こまめに動く・活動的で元気がよい

☆優柔不断



他の人の意見を尊重する
最良のことを常に考える

少し言い方を変えるだけで、なんだか心が変わりませんか？

まずは、あなたとあなたの家族で“まほう”の力をためてみましょう。

自分が「短所だなあ」「自信がないなあ」と思うことに、家族から“まほう”をかけてもらいましょう。きっと自信がもらえることでしょう。